



ROYAL SELECTION

キクスイロイヤルセレクション

ワンランク上のプレミアムな仕上がり！！

2液弱溶剤形屋根用反応硬化形シリコン樹脂塗料

キクスイロイヤルパワールーフS

スレート屋根、トタン屋根どちらにも使用できる2液弱溶剤形屋根用塗料です。上塗材には外壁塗料以上に紫外線に強い樹脂を使用。下塗材は劣化した基材に深く浸透してガッチリ固めて全体を補強するので屋根の寿命を延ばすことができます。

特長

上塗り

マイクロセパレート技術による美しい色彩の維持と紫外線防御

マイクロセパレート技術

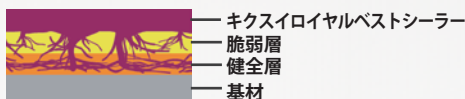
塗料の表面にクリアー層を形成し、紫外線から守る機能と、色を付ける着色層に機能分化させます。



下塗り

浸透固着する1液エポキシシーラー
キクスイロイヤルベストシーラー
(コロニアル、カラーベスト、スレート屋根用)

強溶剤なので健全層まで深く浸透。その後、エポキシ反応硬化で強固な固着層を作ることで剥離を防ぎます。



- ① 耐久性に優れています
- ② 高い付着性を発揮します。
- ③ 防藻・防カビ性を有しています。
- ④ 鉛・クロムフリーです。
- ⑤ 3色からお選びいただけます。
- ⑥ 作業性や乾燥性に優れています。

施工工程

施工前

付着物をきれいに除去する。

高圧洗浄

高圧洗浄にて水洗いする。

乾燥

十分乾燥させる。
※乾燥不足は膨れ、割れ、剥がれの原因になります。

下塗り

キクスイロイヤルベストシーラー (スレート屋根)
キクスイロイヤルプライマーエポ (トタン屋根)

上塗り

キクスイロイヤルパワールーフS

製品一覧

製品名		一般名称	色	艶	
上塗材	キクスイロイヤルパワールーフS	2液弱溶剤形屋根用反応硬化形シリコン樹脂塗料	33色	艶有	
下塗材	スレート	キクスイロイヤルベストシーラー	1液強溶剤形スレート屋根用エポキシ樹脂系浸透シーラー	透明	—
	金属	キクスイロイヤルプライマーエポ	1液速乾弱溶剤形変性エポキシ系さび止め塗料	9色	—

標準施工仕様書

■コロナル、カラーベスト、スレート屋根

素地調整	材料・調合	塗装器具	塗回数	工程時間(h)	所要量
苔、藻、ごみ、塵埃、油脂などの付着物及び劣化塗膜は、高圧水洗浄（10MPa程度）で入念に除去し、水洗い後は翌日まで十分乾燥した清浄な面としてください。					
下塗り	キクスイロイヤルベストシーラー 主材：15kg 無希釈	はけ、ウールローラー エアレススプレー	1～2	2～168h	18～75㎡/15kg 0.20～0.80kg/㎡
上塗り	キクスイロイヤルパワールーフS 主材：13.5kg 硬化剤：1.5kg 塗料用シンナーA：0～1.5L	はけ、ウールローラー エアレススプレー	2	3～168h	41～60㎡/15kgセット 0.25～0.36kg/㎡

※上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法・下地の形状によって異なります。 ※モニエル瓦への塗装は、光沢感が出るまで重ね塗りして下さい。
※塗料用シンナーAは、弊社推奨品をご使用ください。その他のシンナーを使用した場合は、ちぢみや再溶解等の不具合が発生する恐れがあります。

■トタン屋根（金属屋根）

素地調整	材料・調合	塗装器具	塗回数	工程時間(h)	所要量
旧塗膜に浮き、剥がれなど劣化部や脆弱部、さびや粉化物がある場合は、サンダーや皮スキなどで除去し乾燥し清浄な面としてください。					
下塗り	キクスイロイヤルプライマーエポ 主材：16kg 塗料用シンナーA：0～1.6L	はけ、ウールローラー エアレススプレー	1～2	4～168h	106～123㎡/16kg 0.13～0.15kg/㎡
上塗り	キクスイロイヤルパワールーフS 主材：13.5kg 硬化剤：1.5kg 塗料用シンナーA：0～1.5L	はけ、ウールローラー エアレススプレー	2	3～168h	41～60㎡/15kgセット 0.25～0.36kg/㎡

※上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法・下地の形状によって異なります。
※塗料用シンナーAは、弊社推奨品をご使用ください。その他のシンナーを使用した場合は、ちぢみや再溶解等の不具合が発生する恐れがあります。

用途・適応下地

住宅・公共施設・工場等のスレート屋根、
波形スレート屋根、モニエル瓦※1 コロナル、
トタン屋根 ※1. モニエル瓦の仕様は別途ご相談ください。

荷 姿

キクスイロイヤルパワールーフS 15kg/セット（主材：13.5kg/缶、硬化剤：1.5kg/缶）
3kg/セット（主材：2.7kg/缶、硬化剤：0.3kg/缶）
キクスイロイヤルベストシーラー 15kg/缶
キクスイロイヤルプライマーエポ 16kg/缶、4kg/缶

注意事項（屋根用塗料）

（施工上の注意事項）

- 下地がスレート屋根、セメント瓦の場合は、下地の乾燥を十分行ない施工してください。
- 旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みの著しい場合は、劣化塗膜を除去した後、「キクスイSPベストシーラー」または「キクスイSPサマーシーラー」を光沢が出るまで塗り重ね、下地の強度を確保してください。下塗材乾燥後、ガムテープ（布テープ）で、下地との付着性の確認を行ってください。下地が剥がれる場合は、再度下塗材を塗り付けて下さい。
- アスファルトフィング、無機塗料、特殊下地の塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。また、日本瓦には塗装しないでください。
- 大きな動きが予想されるシーリング部などの部位への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく施工を避けてください。
- 下地調整や水洗い、か不十分だと塗膜剥離の原因となります。また、光沢が出ないなどの仕上がりに不良になる場合があります。塗り替える際は必ず高圧水洗がブラシなどによる洗浄を行い、付着物や劣化塗膜を除去してください。
- 高圧水洗は、基本的に注水ノズル（ノズル）を使用してください。ただし、下地を破損しないよう下地までの距離や注水には注意し、基材の形状によりノズルタイプは選択してください。
- 剥離したみが極度に詰まらなような処理を行ってください。
- 水洗い後は夏季2日以上、冬季3日以上乾燥させてください。また、カラーベスト、コロナル表面が雨、霧などで濡潤状態の場合は、十分に乾燥させてください。
- 鋼板下地、錆が発生している場合は、ワイヤーブラシなどで完全に除去してください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、（高湿度、結露、降雨等）塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低湿度又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。
- 外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 寒さや結露が発生するようない部位、場所への塗装しないでください。
- 塗装が高温（50℃以上）の場合、仕上がり、物性に不良が発生することがありますので、施工を避けてください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工後、翌日まで降雨の心配がある場合は、施工を避けてください。（塗装後3～5時間くらいは、絶対に雨に合わないようにしてください。）
- 山間部や夜露の早く降りる地域では早く塗装を終えて、十分な乾燥時間を確保してください。
- 施工時は換気を十分にしてください。
- 施工時は飛散防止として養生を十分にしてください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 塗料は、ミキサーで十分に混ぜ合わせて使用してください。溶剤形塗料の場合は防塵型ミキサーを使用してください。
- 開缶後は、早めに使用してください。
- 2液反応硬化形の材料は、主材と硬化剤を指定の比率で混合し、防塵型ミキサーで混ぜ合わせて使用してください。特に小分けで使用する場合、計量器を用いて計量を行ってください。混ぜ合わせた後の材料は、可使用時間内に使い切ってください。また、可使用時間は温度、希釈などの条件により変わりますので、注意してください。
- 材料の希釈率は所定の量により、所定の所要量を守り事前の試験塗りなどで決定してください。希釈の過多、不足はタレや腐れ、不足、仕上がりに原因となります。
- 各種標準施工仕様に記載の所要量及び開缶時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 色、模様決定に当たっては事前に見本板を確認してください。
- 被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈率などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー・塗装時の塗膜厚さ面でも起こる場合があります。特につや調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の艶と若干違ってくる場合がありますので、試し塗りをし、本施工してください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ローラー塗り場合は、ローラーは同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 下地が波形鋼板の場合、山の部分や、鋼板の継ぎ目、折り曲げ部分は、膜が薄くなりがちです。あらかじめ拾い塗りを行ってください。
- 腐など補修塗料が必要な場合がありますので、補修用塗料の希釈率を調整し、乾燥時間・同調・同調、同一方法で補修してください。また、濃色塗料は、被塗物の形状、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の色と若干違って見える場合がありますので、試し塗りをし、本施工してください。
- 使用後は刷毛やローラーなどは十分に洗浄してください。
- 他の材料と混合して使用しないでください。
- 塗装後、水切部分カラーベスト、コロナルの重なり部分に塗料がつまり漏水の原因になります。塗料がつまりている箇所は、皮すき、クレン棒、カッターなどを用いた塗料を除去し確実に縁切りを行ってください。
- 溶剤形の製品を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

- 溶剤形塗料の場合、希釈用シンナーは弊社推奨品をご使用ください。その他のシンナーを使用した場合は、ちぢみや再溶解、乾燥不良等の不具合が発生する恐れがあります。
- 反応硬化形溶剤形塗料には、水、アルコール系溶剤の混入は絶対避けてください。
- 湿気硬化形溶剤形塗料は、開缶後は空気中の水分と反応しますので速やかに使用してください。また、シンナーにより密栓を行ってください。
- つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。
- 刷毛塗りやローラー塗り、スプレー塗りが混在する場合、施工方法の違いで若干の色相差が生じます。希釈量を調整するなどで塗装してください。
- 艶調整品は、塗料が分離しやすいので、良く混ぜ合わせながらご使用ください。
- 濃色や濃い色に近い色相では塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などに触れる可能性のある部位への施工は行わないでください。施工する場合は、クワイヤーによる保護塗装を行ってください。
- 上塗りに黄色、赤色、青色、緑色の彩度の高い色を塗装する場合、隠れ性が不足する場合がありますのであらかじめ中塗りして色相を調整してください。
- 希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
- 防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては、防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。
- 施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周り水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- 各シーリング材は可塑剤を含まないシリコンシーリング材を使用してください。また、シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜が付着しない場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 改修工事の場合、下地を侵し既存塗膜に膨れ・縮み（リフティング）などの異常が発生することがあります。事前に試し塗りを確認してください。特に、2液反応硬化形溶剤形塗料での改修においては、既存下地が塗料用シンナーで容易に溶解する場合、縮みや膨れが発生する恐れがあるため、塗装は避けてください。
- 冬替え直後は、滑音性が良くなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性がありますので、注意してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗膜面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスクングを行ってください。
- 直射日光・下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 硬化剤は、湿気を吸収しますので密栓をして貯蔵してください。

（安全衛生上の注意事項）

- 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS（安全データシート：JISMSDS）を参照してください。
- 取扱後は手洗い、うがいを十分にしてください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 屋外または換気の良い場所でのみとし、火気厳禁にしてください。
- 必ず必要な時は、環境への放出を避けてください。
- 製品の混ぜ合わせは、防塵型ミキサーにて行ってください。また、必ずアースを取ってください。
- 火災時は、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エポキシ樹脂系の材料は、皮膚に付着しやすく、皮膚に付着しないよう特に注意してください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
- 粉じん、揮発物等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 使用後保管する際は無希釈の状態できち密に40℃以上の場所では保管しないでください。できるだけ早く使用してください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 保管場所、取り扱い場所とその周辺には、塗装中、乾燥中共に、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁としてください。取扱いは、法令に沿って保管を行い、特に乾燥中は蒸発の面積が広がるため、短時間に引火性の高い蒸気が発生します。注意してください。
- 合成樹脂などの電気絶縁性の床で材料の保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料や塗料の付いた布などを処分する際は、法令に従い産業廃棄物として処理してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水、塗料の付いた布などはそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

菊水化学工業株式会社

本社／名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
☎052-300-2222(代)

ホームページ <http://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台支店 ☎ 022-706-5710 関西支店 ☎ 06-7668-5320
東京支店 ☎ 03-3981-2500 福岡支店 ☎ 092-935-4610
名古屋支店 ☎ 0568-69-5200